


経 由
議 長


概算払・前金払精算書

令和8年1月14日

四日市市長

会 派 名 政友クラブ
代表者氏名 川村 幸康 

四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第5条第3項の規定に基づき、令和8年1月分(概算払)の政務活動費について、下記のとおり精算します。

- | | |
|---------|----------|
| 1 精 算 額 | 401,800円 |
| 2 過 不 足 | 15,560円 |

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

経理責任者


視察旅費	川村	¥47,180
	笹岡	¥47,180
	伊藤	¥0 不参加
	荻須	¥47,180
	笹井	¥47,180
	日置	¥47,180
	森	¥47,180
	森川	¥47,180
	上	¥47,180
タクシー代	南桜井駅→視察先	¥2,200
	南桜井駅→視察先	¥2,200
	視察先→南桜井駅	¥2,300
	視察先→南桜井駅	¥2,300
地下神殿コース		¥8,000
大本営地下壕跡		¥5,600
キャンセル料 (JR)		¥1,760
		<hr/>
		¥401,800

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名		政友クラブ						
参加者氏名		川村 幸康						
用務先		東京都・春日部市						
実施日		令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)						
目 的		視察						
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目) 朝食付 1,600 円	(1泊目) 東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	名古屋 ~ 東京	359.2 KM	JR	6,600 円	4,920 円	円		
	東京 ~ 大宮	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
1/13	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	(2泊目) 食事プランを選択 0 円	(2泊目) 都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	大宮 ~ 新橋	32.2 KM	JR	580 円	円	円		
	新橋 ~ 有明	12.0 KM	私鉄	390 円	円	円		
	有明 ~ 豊洲	2.7 KM	私鉄	260 円	円	円		
	豊洲 ~ 市ヶ谷	7.6 KM	地下鉄	210 円	円	円		
	四ツ谷 ~ 東京	6.6 KM	JR	6,380 円	円	円		
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,720 円	円		
名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(3泊目) 食事プランを選択 0 円	(3泊目) 都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)	
	~	KM		円	円			円
	~	KM		円	円			円
	~	KM		円	円			円
小 計				16,700 円	10,680 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,180				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名		政友クラブ							
参加者氏名		笹岡 秀太郎							
用務先		東京都・春日部市							
実施日		令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的		視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費	
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)	
	名古屋 ~ 東京	359.2 KM	JR	6,600 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)	
	東京 ~ 大宮	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円			
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円			
1/13	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円			
	大宮 ~ 新橋	32.2 KM	JR	580 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)	
	新橋 ~ 有明	12.0 KM	私鉄	390 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)	
	有明 ~ 豊洲	2.7 KM	私鉄	260 円	円	円			
	豊洲 ~ 市ヶ谷	7.6 KM	地下鉄	210 円	円	円			
	四ツ谷 ~ 東京	6.6 KM	JR	6,380 円	円	円			
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,720 円	円	(3泊目)	(3泊目)	
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)	
	~	KM		円	円	円			
	~	KM		円	円	円			
	~	KM		円	円	円			
小 計				16,700 円	10,680 円	0 円	1,600 円	18,200 円	
合 計				47,180					

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名		政友クラブ							
参加者氏名		日置 記平							
用務先		東京都・春日部市							
実施日		令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的		視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費	
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目) 朝食付 1,600 円	(1泊目) 東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)	
	名古屋 ~ 東京	359.2 KM	JR	6,600 円	4,920 円	円			
	東京 ~ 大宮	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円			
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円			
1/13	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	(2泊目) 食事プランを選択 0 円	(2泊目) 都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)	
	大宮 ~ 新橋	32.2 KM	JR	580 円	円	円			
	新橋 ~ 有明	12.0 KM	私鉄	390 円	円	円			
	有明 ~ 豊洲	2.7 KM	私鉄	260 円	円	円			
	豊洲 ~ 市ヶ谷	7.6 KM	地下鉄	210 円	円	円			
	四ツ谷 ~ 東京	6.6 KM	JR	6,380 円	円	円			
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,720 円	円			
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円			
~	KM		円	円	円				
~	KM		円	円	円				
~	KM		円	円	円				
小 計				16,700 円	10,680 円	0 円	1,600 円	18,200 円	
合 計				47,180					

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	森 康 哲							
用務先	東京都・春日部市							
実施日	令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 東京	359.2 KM	JR	6,600 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	東京 ~ 大宮	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
1/13	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
	大宮 ~ 新橋	32.2 KM	JR	580 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	新橋 ~ 有明	12.0 KM	私鉄	390 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	有明 ~ 豊洲	2.7 KM	私鉄	260 円	円	円		
	豊洲 ~ 市ヶ谷	7.6 KM	地下鉄	210 円	円	円		
	四ツ谷 ~ 東京	6.6 KM	JR	6,380 円	円	円		
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,720 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,700 円	10,680 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,180				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	荻須 智之							
用務先	東京都・春日部市							
実施日	令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 東京	359.2 KM	JR	6,600 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	東京 ~ 大宮	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
1/13	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
	大宮 ~ 新橋	32.2 KM	JR	580 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	新橋 ~ 有明	12.0 KM	私鉄	390 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	有明 ~ 豊洲	2.7 KM	私鉄	260 円	円	円		
	豊洲 ~ 市ヶ谷	7.6 KM	地下鉄	210 円	円	円		
	四ツ谷 ~ 東京	6.6 KM	JR	6,380 円	円	円		
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,720 円	円		
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,700 円	10,680 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,180				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	森川 慎							
用務先	東京都・春日部市							
実施日	令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 東京	359.2 KM	JR	6,600 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	東京 ~ 大宮	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
1/13	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
	大宮 ~ 新橋	32.2 KM	JR	580 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	新橋 ~ 有明	12.0 KM	私鉄	390 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	有明 ~ 豊洲	2.7 KM	私鉄	260 円	円	円		
	豊洲 ~ 市ヶ谷	7.6 KM	地下鉄	210 円	円	円		
	四ツ谷 ~ 東京	6.6 KM	JR	6,380 円	円	円		
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,720 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,700 円	10,680 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,180				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名		政友クラブ						
参加者氏名		笹井 絹予						
用務先		東京都・春日部市						
実施日		令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)						
目 的		視察						
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 東京	359.2 KM	JR	6,600 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】
	東京 ~ 大宮	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
1/13	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	大宮 ~ 新橋	32.2 KM	JR	580 円	円	円		
	新橋 ~ 有明	12.0 KM	私鉄	390 円	円	円		
	有明 ~ 豊洲	2.7 KM	私鉄	260 円	円	円		
	豊洲 ~ 市ヶ谷	7.6 KM	地下鉄	210 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	四ツ谷 ~ 東京	6.6 KM	JR	6,380 円	円	円		
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,720 円	円		
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円		
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,700 円	10,680 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,180				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	上 麻理							
用務先	東京都・春日部市							
実施日	令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 東京	359.2 KM	JR	6,600 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	東京 ~ 大宮	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
1/13	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
	大宮 ~ 新橋	32.2 KM	JR	580 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	新橋 ~ 有明	12.0 KM	私鉄	390 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	有明 ~ 豊洲	2.7 KM	私鉄	260 円	円	円		
	豊洲 ~ 市ヶ谷	7.6 KM	地下鉄	210 円	円	円		
	四ツ谷 ~ 東京	6.6 KM	JR	6,380 円	円	円		
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,720 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,700 円	10,680 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,180				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

RIHGA ROYAL HOTELS

ご請求明細書

都市センターホテル
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1
TEL:03(3265)8211 FAX:03(3262)1705
事業者番号:T3010001034480

お名前 ヨカイトウキョウシヨ 様
お部屋番号 80366 ご人数 8
ご到着 2026/01/12 ご出発 2026/01/13

日付	ご明細	部屋番号	料金
01/12	◇ハッケーシブラン	from1414	18,200
	◇ハッケーシブラン	from1515	18,200
	◇ハッケーシブラン	from1517	18,200
	◇ハッケーシブラン	from1518	18,200
	◇ハッケーシブラン	from1519	18,200
	◇ハッケーシブラン	from1520	18,200
	◇ハッケーシブラン	from1521	18,200
	◇ハッケーシブラン	from1523	18,200

朝食付

ご請求金額 145,600
(内、宿泊税等: 800)

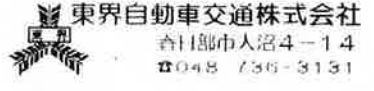
上記金額には、税金・サービス料を含みます。
10%対象税込額 144,800

77シー2台
 南桜井駅
 ~ 首都圏外郭
 放水路支所

領収書
 現・チ・ク・割引 No. 9176
 日付 2026年01月12日
 車番 130121 910
 メータ運賃 ¥1,300-
 予約料金 ¥500-
 一般配車 ¥400-

運賃料金計 ¥2,200-
合計 ¥2,200-
 内消費税等 ¥200-
 消費税率 10%
 上記の通り領収致しました

登録番号 T7030001051289



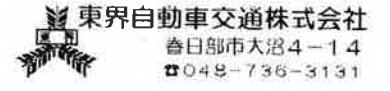
無線配車のご利用は、
☎ 0120-489-797
 無線配車センター ☎ 048-754-3131

お忘れ物や、お気付の点は
 当社又は下記までご連絡下さい。
 埼玉県乗用自動車協会
 ☎ 048-863-6431

領収書
 現・チ・ク・割引 No. 9175
 日付 2026年01月12日
 車番 130121 910
 メータ運賃 ¥1,400-
 予約料金 ¥500-
 一般配車 ¥400-

運賃料金計 ¥2,300-
合計 ¥2,300-
 内消費税等 ¥209-
 消費税率 10%
 上記の通り領収致しました

登録番号 T7030001051289



無線配車のご利用は、
☎ 0120-489-797
 無線配車センター ☎ 048-754-3131

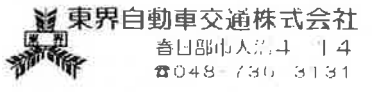
お忘れ物や、お気付の点は
 当社又は下記までご連絡下さい。
 埼玉県乗用自動車協会
 ☎ 048-863-6431

77シー2台
 首都圏外郭
 放水路支所
 ~ 南桜井駅

領収書
 現・チ・ク・割引 No. 4394
 日付 2026年01月12日
 車番 130129 910
 メータ運賃 ¥1,300-
 予約料金 ¥500-
 一般配車 ¥400-

運賃料金計 ¥2,200-
合計 ¥2,200-
 内消費税等 ¥200-
 消費税率 10%
 上記の通り領収致しました

登録番号 T7030001051289



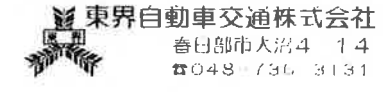
無線配車のご利用は、
☎ 0120-489-797
 無線配車センター ☎ 048-754-3131

お忘れ物や、お気付の点は
 当社又は下記までご連絡下さい。
 埼玉県乗用自動車協会
 ☎ 048-863-6431

領収書
 現・チ・ク・割引 No. 4650
 日付 2026年01月12日
 車番 130128 910
 メータ運賃 ¥1,400-
 予約料金 ¥500-
 一般配車 ¥400-

運賃料金計 ¥2,300-
合計 ¥2,300-
 内消費税等 ¥209-
 消費税率 10%
 上記の通り領収致しました

登録番号 T7030001051289



無線配車のご利用は、
☎ 0120-489-797
 無線配車センター ☎ 048-754-3131

お忘れ物や、お気付の点は
 当社又は下記までご連絡下さい。
 埼玉県乗用自動車協会
 ☎ 048-863-6431

領収証

埼玉県春日部市上金崎720
首都圏外郭放水路 見学会
048-747-0281 ~

2026年01月12日 13:49
000000#1947

地下神殿コース 1,000x8
 **小計 内¥8,000
 (内税) ¥8,000
 個数 ¥727
 **合計 8個 ¥8,000
 現金 ¥10,000
 おつり ¥2,000

領収証書

(住所) 三重県四日市市大矢知町1195	(年度)	令和7年度	(番号)	第 3579 号
	(会計)	一般会計	(主管)	防衛省
	(氏名)	(項) 国有財産使用収入 荻須 智之 殿		
		(目)	入場料等収入	
納付金額	700円 (うち消費税額等63円・消費税率10%)			
ただし、大本営地下壕跡入場料として、令和8年1月13日 領収しました。 収入官吏 防衛省大臣官房広報課 事業班長 神田 聡 (T8000012050001)				

2

領収証書

(住所) 三重県四日市市小古曽二丁目	(年度)	令和7年度	(番号)	第 3580 号
	(会計)	一般会計	(主管)	防衛省
	(氏名)	(項) 国有財産使用収入 上 麻理 殿		
		(目)	入場料等収入	
納付金額	700円 (うち消費税額等63円・消費税率10%)			
ただし、大本営地下壕跡入場料として、令和8年1月13日 領収しました。 収入官吏 防衛省大臣官房広報課 事業班長 神田 聡 (T8000012050001)				

領収証書

(住所) 三重県四日市市寺方町893-3	(年度)	令和7年度	(番号)	第 3581 号
	(会計)	一般会計	(主管)	防衛省
	(氏名)	川村 幸康 殿		
	(項)	国有財産使用収入		
	(目)	入場料等収入		
納付金額	700円 (うち消費税額等63円・消費税率10%)			
ただし、大本営地下壕跡入場料として、令和8年1月13日 領収しました。				
収入官吏 防衛省大臣官房広報課 事業班長 神田 聡				
(T8000012050001)				

領収証書

(住所) 三重県四日市市日永一丁目5-21	(年度)	令和7年度	(番号)	第 3582 号
	(会計)	一般会計	(主管)	防衛省
	(氏名)	笹井 絹子 殿		
	(項)	国有財産使用収入		
	(目)	入場料等収入		
納付金額	700円 (うち消費税額等63円・消費税率10%)			
ただし、大本営地下壕跡入場料として、令和8年1月13日 領収しました。				
収入官吏 防衛省大臣官房広報課 事業班長 神田 聡				
(T8000012050001)				

領収証書

(住所) 三重県四日市市大字東阿曾川823-1	(年度)	令和7年度	(番号)	第 3583 号
	(会計)	一般会計	(主管)	防衛省
	(氏名)	笹岡 秀太郎 殿		
	(項)	国有財産使用収入		
	(目)	入場料等収入		
納付金額	700円 (うち消費税額等63円・消費税率10%)			
ただし、大本営地下壕跡入場料として、令和8年1月13日 領収しました。				
収入官吏 防衛省大臣官房広報課 事業班長 神田 聡				
(T8000012050001)				

領収証書				
(住所) 三重県四日市市采女町43-5	(年度)	令和7年度	(番号)	第 3584 号
	(会計)	一般会計	(主管)	防衛省
	(氏名) 日置 記平 殿	(項)	国有財産使用収入	
		(目)	入場料等収入	
納付金額	700円 (うち消費税額等63円・消費税率10%)			
ただし、大本営地下壕跡入場料として、令和8年1月13日 領収しました。				
収入官吏 防衛省大臣官房広報課 事業班長 神田 聡				
(T8000012050001)				

領収証書				
(住所) 三重県四日市市城山町8-18	(年度)	令和7年度	(番号)	第 3585 号
	(会計)	一般会計	(主管)	防衛省
	(氏名) 森 康哲 殿	(項)	国有財産使用収入	
		(目)	入場料等収入	
納付金額	700円 (うち消費税額等63円・消費税率10%)			
ただし、大本営地下壕跡入場料として、令和8年1月13日 領収しました。				
収入官吏 防衛省大臣官房広報課 事業班長 神田 聡				
(T8000012050001)				

領収証書				
(住所) 三重県四日市市桜新町2-52	(年度)	令和7年度	(番号)	第 3586 号
	(会計)	一般会計	(主管)	防衛省
	(氏名) 森川 慎 殿	(項)	国有財産使用収入	
		(目)	入場料等収入	
納付金額	700円 (うち消費税額等63円・消費税率10%)			
ただし、大本営地下壕跡入場料として、令和8年1月13日 領収しました。				
収入官吏 防衛省大臣官房広報課 事業班長 神田 聡				
(T8000012050001)				

JR乗車券払い戻し手数料（大崎—大宮間） 1,760円（220円×8名分）

当初、1月12日午前10時に国営東京臨海広域防災公園の視察を予定していたが、視察行程を再検討した結果、経由地である大崎駅をはじめとした主要駅における乗り換えの複雑性および当日の混雑状況に鑑み、当初の予定では定刻どおりの到着が困難であり、調査研究活動の遂行に支障をきたす恐れが生じた。

視察先との約束を遵守し、十分な調査時間を確保し、実りある視察を完遂することを最優先とし、現地の状況に即したより確実かつ効率的な行程となるよう変更したものである。

この行程変更（視察日を1月13日午前10時に変更）に伴い、事前購入済みの切符（大崎—大宮間）の払い戻しが必要となった。これに際して生じた取消手数料は、適正かつ円滑に調査研究を実施するために不可欠な経費として支出したものである。

領収書-No 18
窓口-No 1
駅-No 530812
領 収 書
様

金額 ￥206,480円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

2025年12月25日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

四日市駅

現金出納社員

お客様控 クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP R803

会社名・会員番号 [REDACTED] 有XX-XX
取引内容:お買上 支払区分: - 括 IC ￥189,120
承認番号:843991 ATC004B C00 (JR東海)

商品名: (一括発券)乗車券類 32枚(冊)
1月12日 のぞみ 70号 名古屋→品川 乗車券込み 他
乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。
払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

AMERICAN EXPRESS A000000025010801
2025.12.21 40032-34

この控は大切に保存してください。
四日市駅MR発行

お客様控 クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP R847

会社名・会員番号 [REDACTED] 有XX-XX
取引内容:払戻し 支払区分: - 括 IC ￥179,200
承認番号: [REDACTED] (JR東海)

商品名: (一括発券)乗車券類 * 16枚 原取扱:2025.12.21 R803

払いもどしの受けをいたしました。またのご利用をお願いいたします。

2025.12.25 30304-02

この控は大切に保存してください。
四日市駅MR発行

お客様控 クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP R839

会社名・会員番号 [REDACTED] 有XX-XX
取引内容:お買上 支払区分: - 括 IC ￥201,840
承認番号:840120 ATC0058 C00 (JR東海)

商品名: (一括発券)乗車券類 40枚(冊)
1月12日 名古屋内→大宮 他
乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。
払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

AMERICAN EXPRESS A000000025010801
2025.12.25 60286-42

この控は大切に保存してください。
四日市駅MR発行

発行日時2025年12月25日 14:38
駅-No 530812 窓口-No 1

払戻計算書

発売額 ￥5,280円
払戻手数料額 ￥1,760円
差引払戻額 ￥3,520円
「消費税等込み・10%」

上記金額を払い戻しました

東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569
四日市駅

お客様控 クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP

会員番号: [REDACTED]
取引内容:払戻し (JR東海) R821
支払区分: - 括 IC
8枚(冊) ￥5,280

商品名: (一括発券)乗車券類
原取扱:2025.12.21 R803
ATC0056 C00
AMERICAN EXPRESS A000000025010801
2025.12.25 30283-02

会員番号: [REDACTED]
取引内容:手数料 (JR東海) R813
支払区分: - 括 IC
承認番号:825497 ￥1,760
商品名: 払戻手数料

この控は大切に保存してください。
四日市駅MR発行

視察研修報告書(1)

令和8年 1月14日

視察日時	令和8年1月12日(月) 10:00~17:00
視察者氏名	政友クラブ 川村幸康
視察先	埼玉県春日部市 国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所
説明者	国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所龍Q館 施設広報係
目的	首都圏外郭放水路においては地底50mを流れる世界最大級の地下放水路であり、中川・綾瀬川流域の浸水被害を大幅に軽減された施策を学ぶ事とした。
内容	<u>首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u> では首都圏における浸水被害対策として幾つかの河川から地下に取り込む「立杭」と水を送り込む「調圧水槽」、集めた水を江戸川に送り込む「ポンプ施設」からなる浸水被害対策を視察した。
所感・感想	<p><u>「首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u></p> <p>政友クラブの会派視察としての視点を「①防災」「②戦後80年を迎えて」をテーマに継続して活動してきた。我が会派に於いては議会における年間行事スケジュールに併せて視察スケジュールを組んでいたが、予定が変更されたことから急遽予定を変更しての視察となった。</p> <p>首都圏外郭放水路管理支所では「龍Q館」として一般公開されており、多くの外国人の観覧者が来所しており防災施設が観光資源になることに驚きを感じた。当施設は防災対策施設であり地底50mを総延長6.3kのトンネルにて中小河川の洪水を地下に取り込み江戸川に放水する防災施設で、調圧水槽は「防災地下神殿」とも呼ばれており観光の目玉として活用されており、そのスケールの大きさから映画のロケやテレビドラマの舞台ともなっているとのことであった。</p> <p>また、疑似体験ができる施策として、洪水時の様子をARアプリで再現した体験においては防災教育等に活かせるのではと感じた。</p> <p>この施設は13年をかけた大プロジェクトであり、周辺住民の生命と財産を守る為に多額の税を投入した施策展開により洪水被害は大幅に減少されたことは、費用対効果の面からも絶大な効果があったものと思われる。</p> <p>そのシステムの概要としては、洪水時における増水に対応し、水位が上昇したら流入施設へと水が流れ込んで、5本の立坑から巨大な調圧水槽に送り込み、4台の巨大ポンプ排水機から江戸川へと流すシステムで、巨額の投資であるが住民の命と財産を水害から守る素晴らしい施策展開であると認識し、この施設のミニチュア版で地方都市における水害対策に寄与するのでは無いかと感じた。</p> <p>施設視察終了間際に立坑から大きな振動音が聞こえることから説明者に音の発生原因を尋ねたところ、当施設の広大な敷地に幾つかのスポーツ施設が展開されており、音の発生する立坑のうえにはスケートボード施設があり多くの利用者が賑わっているところからの音とのことであった。また、調圧水槽の上部にはフットボール場があり多くの市民が利用しており、防災と観光施設にあわせてスポーツ施設が展開されている事に素晴らしい施策展開となっていることに驚きを感じた。</p>

視察研修報告書(2)

令和8年1月14日

視察日時	令和8年10月13日(火) 10:00~12:00
視察者氏名	政友クラブ 川村幸康
視察先	東京臨海広域防災公園・
説明者	防東京臨海広域防災公園管理センター長 長谷部 隆介 氏 衛省大臣官房広報課 江藤氏
目的	1・東京臨海広域防災公園は首都圏における大地震等の発災時における緊急対策本部が設置されており、緊急時と平時における防災施策を学ぶ。 2・戦後80年を迎え平和の尊さを心に刻み防衛省市ヶ谷記念館を訪れ、慰霊と鎮魂を込め大本営地下壕跡を視察、我が国の戦争の悲惨さを再確認し平和の大切さを市政に活かすこと。
内容	<u>東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」</u> においては防災体験を通し防災対策について学と共に大地震等の発災時における緊急対策本部の活用手法ならびに公園内の施設を視察した。 <u>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」</u> について 戦後に開催された極東軍事裁判の法廷として使用された大講堂は記念館として公開されており展示物や当時の資料を視察し、地下壕跡を訪れ改めて平和の尊さを実感する。
所感・感想	<u>「東京臨海広域防災公園」</u> について 当防災公園は国営であり、首都の防災を担う拠点として有明駅前に立地しており10時から施設の概要説明を受け、その後1階にある被災の状況を再現した「東京直下72h TOUR」において避難体験をさせて頂いた 体験後には2階に設置されている政府対策本部や総合的な防災拠点施策を視察した。 首都圏の防災施策は国営と言うこともあり、とにかくスケールが大きく例えばヘリポートにおいては一度に5機が離発着できる。また、隣接する病院も大災害時には活用する施設として整備されており、首都圏の防災拠点として位置づけされている。 <u>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」</u> について 今回の視察の最終行程である市ヶ谷を訪れた。当地は防衛省・自衛隊の本拠地で市ヶ谷記念館に於いては歴史的建造物として当時の姿を忠実に再現し移築・復元された施設として歴史を通し時代の流れを認識することが出来る。大講堂は極東軍事裁判の法廷として有名な場所であり、大講堂内には旧日本軍の資料や制服、軍刀等が展示されている。また、近代史に残る三島事件の現場として有名で事件当時の刀傷跡が残っていた 市ヶ谷記念館周辺には様々な自衛隊施設があり、多くの自衛隊員が運動をされていた。 施設視察後、最終の目的である大本営地下壕跡へと向かった。 大本営地下壕は陸軍の主要施設が昭和16年に市ヶ谷地区に移転されたことに伴い現地の防災壕として建設されたが、戦後にはGHQが昭和34年まで使用されていたが、その後返還され、当時の模様を後世に伝える貴重な施設として後世に伝えることとし整備が進められ公開されている。 会派視察のテーマである戦後80年を振り返る事で、平和の尊さを改めて認識すると共に、今後の市政施策展開に命の尊さを再認識する有意義な視察となった。 今回の視察に際し、衆議院事務所ならびに四日市事務所のご協力に感謝して帰路についてた。

視察研修報告書(1)

令和8年 1月14日

視察日時	令和8年1月12日(月) 10:00~17:00
視察者氏名	政友クラブ 笹岡秀太郎
視察先	埼玉県春日部市 国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所
説明者	国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所龍Q館 施設広報係
目的	首都圏外郭放水路においては地底 50mを流れる世界最大級の地下放水路であり、中川・綾瀬川流域の浸水被害を大幅に軽減された施策を学ぶ事とした。
内容	<u>首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u> では首都圏における浸水被害対策として幾つかの河川から地下に取り込む「立杭」と水を送り込む「調圧水槽」、集めた水を江戸川に送り込む「ポンプ施設」からなる浸水被害対策を視察した。
所感・感想	<p><u>「首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u></p> <p>政友クラブの会派視察として当初は13日(火曜日)から視察開始としたスケジュールを組んでいたが、帰泗日の翌日から議会運営委員会視察が予定されたことから一日前倒しでのスケジュールとして実行させて頂いた。</p> <p>東京から大宮に移動し大宮から南桜井に向かい着後タクシーにて当該施設へと向かった。視察に於いては首都圏外郭放水路管理支所「地底探検ミュージアム龍Q館」の観光客と併せての説明となるとのことで、多くの訪問者と共に説明を受けたが、外国からの観光客が多い事から音声アプリの日本語・英語・中国語にて説明を受けるところである。</p> <p>また、ARアプリにより洪水時の様子を疑似体験することができ、リアリティのある体験は今後の防災教育等におけるアイテムとして活用される視点と感じた。</p> <p>当施設は観光施設としても注目されている防災対策施設であり地底 50mを総延長 6.3k のトンネルで幾つもの中小河川の洪水を地下に取り込んで江戸川へと放水する巨大施設である。特に調圧水槽はそのスケールの壮大さから「防災地下神殿」とも呼ばれており観光の目玉として活用されている。</p> <p>調圧水槽に至る階段は 116 段あり、一般のビルに換算すると 6 階の高さがあり視察申し込み時における注意事項は履き慣れたスニーカー等での参加、ならびに汚れても良い服装とのことであったが、昇降は大変疲れたところである。</p> <p>本施設はおよそ 13 年をかけた大プロジェクトであり、施設完成後における首都圏の洪水被害は大幅に減少されたことは稼働実績から見ても絶大な効果があったものと確信した。</p> <p>そのシステムの概要は洪水時に河川の水位が上昇したら自然に流入施設に流れ込み、5箇所立坑から洪水を取り込んで巨大な調圧水槽に送り込む。その後、排水機により配水管に送られ 4 台の巨大ポンプにより江戸川へと流すシステムである。巨額の投資であるが住民の命と財産を水害から守る素晴らしき施策展開であると認識し、この施設のミニチュア版で地方都市における水害対策に寄与するのでは無いかと感じた。</p>

視察研修報告書(2)

令和8年1月14日

視察日時	令和8年10月13日(火) 10:00~12:00
視察者氏名	政友クラブ 笹岡秀太郎
視察先	東京臨海広域防災公園・
説明者	防東京臨海広域防災公園管理センター長 長谷部 隆介 氏 衛省大臣官房広報課 江藤氏
目的	1・東京臨海広域防災公園は首都圏における大地震等の発災時における緊急対策本部が設置されており、緊急時と平時における防災施策を学ぶ。 2・戦後80年を迎え平和の尊さを心に刻み防衛省市ヶ谷記念館を訪れ、慰霊と鎮魂を込め大本営地下壕跡を視察、我が国の戦争の悲惨さを再確認し平和の大切さを市政に活かすこと。
内容	<u>東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」</u> においては防災体験を通し防災対策について学と共に大地震等の発災時における緊急対策本部の活用手法ならびに公園内の施設を視察した。 <u>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」</u> について 戦後に開催された極東軍事裁判の法廷として使用された大講堂は記念館として公開されており展示物や当時の資料を視察し、地下壕跡を訪れ改めて平和の尊さを実感する。
所感・感想	<u>「東京臨海広域防災公園」</u> について 当日は東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」が休館日とのことで予定変更を計画していたところ、当館様のご理解で休館日ではあるが視察対応して頂くことが出来た。当館はゆりかもめ有明駅徒歩2分の好立地に施策展開されており、防災対策シミュレーション「東京直下72h TOUR」を体験させて頂いた。体験には個々にタブレットが配布され、被災の状況を再現した施設内を避難場所まで移動する体験をタブレットから出題されるクイズに答えながら楽しんで防災について学ぶことが出来たところである。体験後には首都圏における大災害発生時に設置される政府対策本部や5機が離発着出来るヘリポートなどを視察したが、首都の防災を担う拠点として多額の税が投入されている施設であると認識した。 <u>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」</u> について 当館は歴史的建造物として当時の姿を忠実に再現し移築・復元されており、大講堂は戦後に実施された極東軍事裁判の法廷として有名な場所で、忠実に再現されている。講堂内には旧日本軍の資料や制服、軍刀等が展示されており、近代史に残る三島事件の現場として有名な旧便殿の間(天皇陛下がご休憩される部屋)には事件当時の刀傷跡が残されており、歴史の流れを深く感じる事が出来た。 市ヶ谷記念館周辺の自衛隊施設を視察しながら大本営地下壕跡へと向かう。 大本営地下壕跡は昭和16年に大本営陸軍部、陸軍省、参謀本部等の陸軍の主要施設が市ヶ谷地区に移転されたことに伴い現地の防災壕として建設され、大臣室通信室、炊事場、浴場、トイレなどが完備されていた。戦後にはGHQが使用しており昭和34年に返還されたとのことである。 昨年実施した沖縄戦から学ぶ平和の尊さをテーマとした視察から、今回の当施設視察を通し戦後80年を振り返り、改めて平和の尊さを実感すると共に今後の市政施策展開に平和を活かしてゆく視点の重要性を再確認出来た有意義な視察となった。

視察研修報告書(1)

R8.1.14

視察日時	令和8年1月12日(月) 10:00~17:00
視察者氏名	政友クラブ 日蓮江守
視察先	埼玉県春日部市 国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所
説明者	国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所 龍Q館 施設広報係
目的	首都圏外郭放水路においては地底50mを流れる世界最大級の地下放水路であり、中川・綾瀬川流域の浸水被害を大幅に軽減された施策を学ぶ事とした。
内容	首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」では首都圏における浸水被害対策として幾つかの河川から地下に取り込む「立杭」と水を送り込む「調圧水槽」、集めた水を江戸川に送り込む「ポンプ施設」からなる浸水被害対策を視察した。
所感・感想	<p>当市で起きた浸水災害と重ねて見学をさせて頂いた 昨今の気候の動向では、急激な雨や雨量が過去に例を見ない 記録的なものであったり いつ、災害が起きてもおかしくないような状況である</p> <p>緊急で対応できるこのような施設は 各地で必要になってくるだろう 四日市においても様々な手法がとられているが このような地下施設の在り方も一つの検討材料となると感じた</p>

視察研修報告書(2)

R8.1.14

視察日時	令和8年10月13日(火) 10:00~12:00
視察者氏名	政友クラブ <u>日電紀平</u>
視察先	東京臨海広域防災公園・
説明者	防東京臨海広域防災公園管理センター長 長谷部 隆介 氏 衛省大臣官房広報課 江藤氏
目的	1・東京臨海広域防災公園は首都圏における大地震等の発災時における緊急対策本部が設置されており、緊急時と平時における防災施策を学ぶ。 2・戦後80年を迎え平和の尊さを心に刻み防衛省市ヶ谷記念館を訪れ、慰霊と鎮魂を込め大本営地下壕跡を視察、我が国の戦争の悲惨さを再確認し平和の大切さを市政に活かすこと。
内容	<u>東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」</u> においては防災体験を通し防災対策について学と共に大地震等の発災時における緊急対策本部の活用法ならびに公園内の施設を視察した。 <u>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」</u> について 戦後に開催された極東軍事裁判の法廷として使用された大講堂は記念館として公開されており展示物や当時の資料を視察し、地下壕跡を訪れ改めて平和の尊さを実感する。
所感・感想	東京臨海広域防災公園 防災に関心が高まっている昨今において 小学生などの子ども時期からの 学びは大切である、またこの施設は体験だけでなく今からすぐに自宅でも実践できる 防災グッズや備蓄の在り方が学べることは大変貴重な施設であると感じる 防衛省 過去の歴史を改めて確認すると平和というものの有難さが、そして あたり前の様に平和であることの大切さを感じる場所である 本市においても戦争によって失ったものや事柄は多いのだが その歴史を忘れてしまい、世界で起きている紛争について我々も意識をし 平和への学びをしっかりと行うことが必要と感じる

視察研修報告書(1)

令和8年 / 月 / 日

視察日時	令和8年1月12日(月) 13:00~17:00
視察者氏名	政友クラブ 森 康哲
視 察 先	埼玉県春日部市 国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所
説 明 者	国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所龍Q館 施設広報係
目的	首都圏外郭放水路においては地底50mを流れる世界最大級の地下放水路であり、中川・綾瀬川流域の浸水被害を大幅に軽減された施策を学ぶ事とした。
内容	<u>首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u> では首都圏における浸水被害対策として幾つかの河川から地下に取り込む「立杭」と水を送り込む「調圧水槽」、集めた水を江戸川に送り込む「ポンプ施設」からなる浸水被害対策を視察した。
所感・感想	<p><u>「首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u></p> <p>首都圏外郭放水路は、倉松川・大落古利根川などの中小河川の洪水を地下に取り込み、地底50mを貫く総延長6,3kmのトンネルを通じて江戸川に流す、世界最大級の地下放水路を視察した。2006年に完成後20年たった今でも、見学者は多く、海外からの見学者も多く見受けられました。平成18年から年間数回から最大12回の稼働実績があり、完成後の水害被害は大幅に軽減されたとのことでした。中川・綾瀬川流域は、水が溜まりやすい「皿」のような地形のため、浸水被害を繰り返してきた。更に都心に近く交通の利便性が高いことから、急速な都市化が進み、人口・資産の集中が進むと反面流域に多く存在していた遊水・保水機能を持つ田畑等が失われたこともあり、従来からの治水施設の整備だけでは、早急に洪水被害を軽減させるすべがなかった。そこで、水害に強いまちづくりとして「中川・綾瀬川総合治水対策」の協議会を立ち上げ整備計画を策定し、水害に強いまちづくりを目指している。首都圏外郭放水路の整備による浸水被害軽減効果を2002年の部分通水開始以降の主要洪水を対象にし、算出すると、部分通水から約18年間で約1484億円の浸水被害を軽減しています。四日市においても、毎年想定外の降雨があり、昭和49年のヨンキュウ災害・平成12年の東海豪雨・昨年の125ミリの線状降水帯で、街の中心部だけ被害が集中し、くすのきパーキングの地下駐車場が水没する被害が発生しました。このような被害に対して今までの治水対策でよいのかどうかを検証するためにも、この首都圏外郭放水路は、大変参考になった。例えば、くすのきパーキングの地下2階部分は、完全に水没したため復旧するには多額のお金と時間がかかると想定されることから、地下2階部分は車を駐車機能はやめて調整池にし、1階部分のみ駐車場として機能転換することも検討する必要があるのではないかと感じた。</p>

視察研修報告書(2)

令和8年1月14日

視察日時	令和8年10月13日(火) 10:00~16:00
視察者氏名	政友クラブ 森 康哲
視 察 先	東京臨海広域防災公園・
説 明 者	防東京臨海広域防災公園管理センター長 長谷部 隆介 氏 衛省大臣官房広報課 江藤氏
目的	1・東京臨海広域防災公園は首都圏における大地震等の発災時における緊急対策本部が設置されており、緊急時と平時における防災施策を学ぶ。 2・戦後80年を迎え平和の尊さを心に刻み防衛省市ヶ谷記念館を訪れ、慰霊と鎮魂を込め大本営地下壕跡を視察、我が国の戦争の悲惨さを再確認し平和の大切さを市政に活かすこと。
内容	<u>東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」</u> においては防災体験を通し防災対策について学と共に大地震等の発災時における緊急対策本部の活用手法ならびに公園内の施設を視察した。 <u>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」</u> について 戦後に開催された極東軍事裁判の法廷として使用された大講堂は記念館として公開されており展示物や当時の資料を視察し、地下壕跡を訪れ改めて平和の尊さを実感する。
所感・感想	<u>「東京臨海広域防災公園」</u> について この施設の特徴は、もし首都圏で大規模災害が発生した時に、国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、災害支援活動を行う防災拠点の候補になっている施設である。施設内には、被災地の情報を集約するための、オペレーションルームがあり、映画のロケ地にもなっている。例えば施設内では、大きな揺れが急に襲ったらまずは自分の身を守る→物が落ちたり、飛んでくる危険が。とにかく頭を守ることで、命にかかわるけがを防げることが多言語で表示されています。また、ろうそくの火は倒れたら火事になるかも？ランタンは広い範囲を照らせて便利だとか読んで気づかせる工夫がなされていた。そして地震体験施設では過度な大掛かりな設備ではなく2人が座った状態で過去の大きな地震の震度の再現が体験できるもので、コストパフォーマンスは良と感じた。また、別の部屋では、持ちだし品の展示がなされており、家族4人の持ち出し量の装丁もわかりやすく展示がなされており、特に排泄量は想像以上に多く発災直後は一番困ることだろうと気づく工夫がされていた。それから、代用品の活用としてロングスカートが目隠しになることや、けがと寒さ対策にスキー用品を準備したら？旅の備えが有事の備えになどハッと気づかせるような工夫が随所に盛り込まれており、四日市市においてもお金をかけずに工夫次第でできるよう提案をしていきたい。 <u>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」</u> について 市ヶ谷の防衛省市ヶ谷記念館と大本営地下壕跡の視察の中で、市ヶ谷記念館の1階にある大講堂では、昭和19年に陸軍士官学校の大講堂として建設され、昭和21年5月から23年11月までの間、極東国際軍事裁判(東京裁判)の法廷として使われた。入って正面奥中央の玉座において閉架に対して失礼が内容遠近法を取り入れ、床面の購買など随所に工夫がみられる。裁判においては玉座は取り除かれ証明は明るいのが増やされ報道されるのに影ができないほど工夫されていた。2階の旧陸軍大臣室では三島由紀夫氏が葛藤した刀傷の跡が残されており、四日市市出身の森田修氏のくだりについても感慨深いものを感じた。また、大本営地下壕跡では、昭和16年から1年半をかけ防空壕として建設され、通路幅は4,6m

第6号様式(第4条関係)

高さ4m全体では幅48メートル奥行き52メートルの縦3本横2本の組み合わせで構成されている。鉄の扉においては500キロ爆弾にも耐えうる頑丈なものであり通気口の地上部分で石灯籠に扮したカモフラージュがなされていた。昨年の会は視察で沖縄の旧陸軍の地下壕跡の視察や司令部後の視察と関連があり人権についてもしっかりと視察できた。

視 察 研 修 報 告 書 (3)

令和 8 年 1 月 14 日

視察日時	令和 8 年 10 月 13 日(火) 13:00~15:15
視察者氏名	政友クラブ 荻須智之
視 察 先	防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡
説 明 者	防衛省大臣官房広報課 江藤氏
目的	戦後 80 年を迎え平和の尊さを心に刻み防衛省市ヶ谷記念館を訪れ、慰霊と鎮魂を込め大本営地下壕跡を視察、我が国の戦争の悲惨さを再確認し平和の大切さを市政に活かすことを目的とした。極東軍事裁判の法廷として使われた旧陸軍大学校の大講堂の見学も行った。
内容	防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡においては「市ヶ谷台ツアー」として、平日の午前午後に見学ツアーが開催されている。戦後に開催された極東軍事裁判の法廷として使用された大講堂は移築され現地で記念館として公開されているところから、展示物や当時の資料を視察させて頂き、改めて平和の尊さを実感する。
宿泊先の 所感・感想	<p>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」について</p> <p>宿泊先の都市センターホテルの上階に設置されている四日市市東京事務所を表敬訪問し、情報交換後地下鉄にて移動した。</p> <p>当日は強風で大荒れの天候の中、防衛省入り口にて防衛省大臣官房広報課の出迎えを受ける。担当官も本日の強風は近年でも滅多にない天候とのことであった。身分証明書等の確認の後に諸注意のブリーフィングを受け、強風の中市ヶ谷記念館へと向かった。</p> <p>当館は歴史的建造物として当時の姿を忠実に再現し移築・復元されており、大講堂は戦後に実施された極東軍事裁判の法廷として有名な場所である。現在は裁判の法廷の再現では無く、元からの大講堂を忠実に再現している。特に講堂の床は当時のままに移設されているとのことで感慨深いものがある。講堂内には旧日本軍の資料や制服、軍刀等が展示されており、近代史に残る三島事件の現場として有名な旧便殿の間は、当時東部方面総監部であったが、事件当時の刀傷跡が残されており、歴史の流れを深く感じる事が出来た。三島と共に自害した森田必勝（マサカツ）は四日市市出身である。</p> <p>市ヶ谷記念館周辺の自衛隊施設を視察してから、大本営地下壕跡を視察した。大本営地下壕跡は昭和 16 年に大本営陸軍部、陸軍省、参謀本部等の陸軍の主要施設が市ヶ谷地区に移転されたことに伴い現地の防災壕として建設され、大臣室通信室、炊事場、浴場、トイレなどが完備されていた。ここは地下に掘られた施設ではなく、地上に鉄筋コンクリート製の施設を造り、その上にセメントや土を被せて 500kg 爆弾の爆撃に耐える構造とした。戦後には GHQ が使用しており昭和 34 年に返還された。当施設は歴史的に重要な建造物として防衛省に於いて補強工事が実施され、安全性を確保して公開されている。</p> <p>昨年実施した沖縄戦から学ぶ平和の尊さをテーマとした視察から、今回の当施設視察を通し戦後 80 年を振り返り、改めて平和の尊さを実感すると共に今後の市政にこれらの歴史を活かしてゆく重要さを再確認出来た有意義な視察となった。大東亜戦争の様々な遺物が風化していく中で、保存対策が急がれる。</p>

視 察 研 修 報 告 書 (1)

令和 8 年 / 月 14 日

視察日時	令和 8 年 1 月 12 日(月) 14:00~15:00
視察者氏名	政友クラブ 荻須智之
視 察 先	国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所龍 Q 館
説 明 者	国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所龍 Q 館 施設広報係
目的	首都圏外郭放水路においては地底 50m を流れる世界最大級の地下放水路であり、中川・綾瀬川流域の浸水被害を大幅に軽減した施策を学ぶ。四日市市の地下函渠も同様な地下の貯留槽である。規模は違うが、集中豪雨時に地下の空間に河川水を一時的に貯留して、地上の水害を緩和する目的では類似した施設で、今後の四日市市での運用の参考とする。
内容	<u>首都圏外郭放水路管理支所「龍 Q 館」</u> では首都圏における浸水被害対策として幾つかの河川から増水した河川水を地下の導水管に取り込む「立杭」と、最後に江戸川に貯留水を送り込むための「調圧水槽」と「ポンプ施設」からなる浸水被害対策を視察した。
所感・感想	<p><u>首都圏外郭放水路管理支所「龍 Q 館」</u>は中南米、EU などの外国からの観光客が多く、観光施設としても注目されている防災対策施設である。地底 50m を総延長 6.3km、直径 10m のトンネルで幾つもの準用河川の河川水を豪雨発生時に地下に取り込んで貯留し、豪雨終了後に江戸川へと放水する巨大施設である。</p> <p>建設に 13 年をかけた巨大プロジェクトであり、この施設完成後に首都圏の洪水被害が大幅に減少されたことは、一年に 4 回ほどの施設稼働実績から見ても明らかである。</p> <p>このシステムの概要は豪雨時に河川の水位が上昇した際に基準水位を越水した河川水が自然に 5 箇所立坑から流入施設に流れ込み、横方向のトンネルを通過して、最後に巨大な調圧水槽に溜まる。豪雨が収まってから、ここから 4 台の巨大ポンプにより江戸川へと貯留水を放流すシステムである。</p> <p>巨額の投資であるが住民の命と財産を水害から守る素晴らしい施策であり、この施設のミニチュア版が四日市市でも稼働中であり、他の地方都市における水害対策の一つのモデルである。</p> <p>豪雨時には河川水とともに大量の泥が流入するので、貯留水の排出後には、地上からブルドーザーをクレーンを使って地下の調圧水槽に下ろし、土砂の集積、排出を行う。そのために大きな搬入用ハッチが整備されている。</p> <p>また、ここはフィルム・コミッションとして、「仮面ライダー」、「ウルトラマンシリーズ」の撮影が行われたことから、本来の防災の目的以外に有名である。その効果か、海外からの観光客が多く印象的であった。幸い中国からの観光客が皆無であり、比較的空いていたようで、見学者は皆、静粛で気持ちよく視察できた。</p>

視察研修報告書(2)

令和8年1月/4日

視察日時	令和8年1月13日(火) 10:00~11:10
視察者氏名	政友クラブ 萩須智之
視察先	東京臨海広域防災公園
説明者	東京臨海広域防災公園管理センター長 長谷部 隆介 氏
目的	東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」は首都圏における大地震等の発災時における緊急対策本部が設置されており、平時には防災対策シミュレーションを実施している。 ここでは都市部での緊急時と平時における防災施策を学ぶ。
内容	<u>東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」</u> においては防災体験を通し防災対策について学と共に大地震等の発災時における緊急対策本部の活用手法ならびに公園内の施設を視察した。
所感・感想	<p><u>「東京臨海広域防災公園」</u>について</p> <p>視察当日は、当該施設の休館日ではあるが館長のご厚意で視察対応して頂くことが出来た。当館はゆりかもめ有明駅徒歩2分の好立地であり、防災対策シミュレーション「東京直下72h TOUR」を体験させて頂いた。体験には個々にタブレットが配布され、被災の状況を再現した施設内を避難場所まで移動する体験をタブレットから出題されるクイズに答えながら楽しんで防災について学ぶことが出来た。映画のセットのようなリアルな都市の災害現場が設営されており、この中を歩きながらクイズに挑む方式である。この展示物を過ぎると、災害用伝言ダイヤルが171であること、避難所での生活の実際を学ぶコーナーがあり、クイズは終わる。その後、首都直下型地震について、なぜこれが起きるのか?</p> <p>発災後にどう行動するかを示す展示があり、関東圏の震度の分布展示、起震機による東日本大震災、関東大震災、東日本大震災の其々の揺れを体験した。東日本大震災の揺れが大きいうえに3分程度と長く続いたことが印象に残った。続いて津波についての説明コーナーの後、最後の部屋では避難所での生活で生じる未知の不自由さと問題点が展示されていた。子供には癒しのための遊具やゲーム機が必要であり、まず、最初に困るのは飲料水以上にトイレであること。避難用具や備蓄食品などの展示に加え、スイミングゴーグルが防塵メガネとして有効であることや、水無しでも飲める薬の常備、生理用品の備蓄の重要性などが展示されており、大変勉強になった。</p> <p>施設見学後には、首都圏における大災害発生時に設置される政府対策本部を上階から俯瞰したが、ここは映画「シン・ゴジラ」で撮影に使われた。本物の対策本部を使っただけの撮影であった。</p> <p>最後に屋外で、ヘリコプター5機が離発着出来るヘリポートなどを視察したが、首都の防災を担う拠点として多額の税が投入されている施設であると認識した。</p> <p>この施設をこの規模で四日市市に整備することは難しいが、展示施設としては良い手本であり、防災と非難生活の実際を学ぶ施設を整備する必要性を感じた。</p>

視察研修報告書(1)

令和8年1月14日

視察日時	令和8年1月12日(月) 10:00~17:00
視察者氏名	政友クラブ 森川慎
視察先	埼玉県春日部市 国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所
説明者	国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所龍Q館 施設広報係
目的	首都圏外郭放水路においては地底 50mを流れる世界最大級の地下放水路であり、中川・綾瀬川流域の浸水被害を大幅に軽減された施策を学ぶ事とした。
内容	<u>首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u> では首都圏における浸水被害対策として幾つかの河川から地下に取り込む「立杭」と水を送り込む「調圧水槽」、集めた水を江戸川に送り込む「ポンプ施設」からなる浸水被害対策を視察した。
所感・感想	<p><u>「首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u></p> <p>先の四日市市における水害を鑑みて、本市においてどのような対策ができるのかを改めて考えることとなった。</p> <p>当地は長年水害に苦しむ地域であり、歴史的に治水に力をいれてきており、それが結実をしてこの度訪れた巨大な当放水路が整備をされている。</p> <p>当地を見学し、まず思うのは水害を防ぐためには、これだけのスケールの設備が必要であるということと、それを整備するための莫大な予算、そして時間が必要であるということだ。それを鑑みると、四日市市における水害への対策はまだその緒にもついていないと言える現状であると言わざるを得ない。中心市街地においては、かつてより水のつきやすい場所であることは明確にわかっており、今回の水害の状況はまちづくりの在り方として不十分であったと感じられる。これからどれだけ復旧にどれだけ予算が必要であるのか、そして再び同じような被害が出ないように対策するためにはどれだけ予算と時間が必要になるのか、皆目見当がつかない。しかしながら、そこに生きて暮らす人がいるのであるから、行政はわずかずつでもその取り組みを地道に続けていくしかない。</p> <p>議会においても改めて、今後100年200年と安心して暮らしていける四日市市とするために、知見を深め、十全な議論がなされていくことが求められるし、そのための努力を私も続けていきたい。</p>

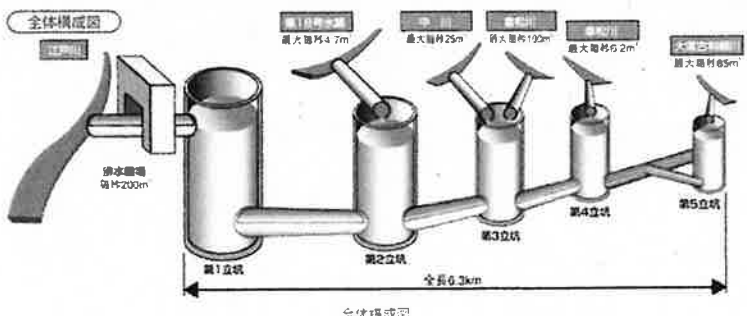

視察研修報告書(2)

令和8年/月/日

視察日時	令和8年10月13日(火) 10:00~12:00
視察者氏名	政友クラブ 森川慎
視察先	東京臨海広域防災公園・
説明者	防東京臨海広域防災公園管理センター長 長谷部 隆介 氏 衛省大臣官房広報課 江藤氏
目的	1・東京臨海広域防災公園は首都圏における大地震等の発災時における緊急対策本部が設置されており、緊急時と平時における防災施策を学ぶ。 2・戦後80年を迎え平和の尊さを心に刻み防衛省市ヶ谷記念館を訪れ、慰霊と鎮魂を込め大本営地下壕跡を視察、我が国の戦争の悲惨さを再確認し平和の大切さを市政に活かすこと。
内容	東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」 においては防災体験を通し防災対策について学と共に大地震等の発災時における緊急対策本部の活用手法ならびに公園内の施設を視察した。 「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」 について 戦後に開催された極東軍事裁判の法廷として使用された大講堂は記念館として公開されており展示物や当時の資料を視察し、地下壕跡を訪れ改めて平和の尊さを実感する。
所感・感想	「東京臨海広域防災公園」 について 広大な敷地において、災害時に様々な対応ができるよう当公園は整備をされている。ヘリポートから資材を搬入する場所まで、首都圏での発災時はこれだけの規模が想定として必要なのかと実感することができた。四日市市においても具体的なシュミレーションのもと計画的な防災設備の整備が必要であると改めて感じる。 また、防災教育を実施できるセンターにおいては、災害が起きた際の対応などクイズ形式で災害に関する様々なことや、日ごろの備えに関することを視覚的に分かりやすく学べるようになっており、子どもだけでなく大人でも様々な学びを得られる施設であった。これだけの施設を四日市に整備することは予算的になかなか難しいが、学校での修学旅行で訪れることなどでできれば、日ごろと異なる学びを得られるのではないかと感じた。 「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」 について 当遺構は80年前の大本営地下壕がほぼそのまま保存されている。実際の遺構を目の前にすると、戦争がいかに困難な状況を人に強いるのか、リアルに実感をされる。長い月日が経ち平和であることが当たり前になり、戦争の現実を私たちの社会がどこかに置き去りにしているのかもしれないということを思うと、このような戦争遺構は教訓として、また改めて現代人が戦争のことを思い起こすために、保全していくことは極めて重要なことであると感じられる。 四日市市も戦火に見舞われた都市であり、非核平和都市宣言をしている都市である、市民挙げての戦争の記憶が薄れないよう、そして再びその戦火を繰り返さないよう、行政としてのいっそうの取り組みを求めている。

視察研修報告書(1)

令和8年 1月12日

視察日時	令和8年1月12日(月) 10:00~17:00
視察者氏名	政友クラブ 笹井絹予
視察先	埼玉県春日部市 国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所
説明者	国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所龍Q館 施設広報係
目的	首都圏外郭放水路においては地底 50mを流れる世界最大級の地下放水路であり、中川・綾瀬川流域の浸水被害を大幅に軽減された施策を学ぶ事とした。
内容	首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」では首都圏における浸水被害対策として幾つかの河川から地下に取り込む「立杭」と水を送り込む「調圧水槽」、集めた水を江戸川に送り込む「ポンプ施設」からなる浸水被害対策を視察した。
所感・感想	<p>「首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</p> <p>龍Q館は、国土交通省の洪水防御施設「首都圏外郭放水路」内に設置され、外郭放水路の機能や役割を紹介する他、地域の賑わいの場を創出する観光拠点としての機能も備えている。</p> <p>首都圏外郭放水路は、洪水を防ぐために建設された世界最大級の地下放水路である。</p> <p>大雨時に中小河川があふれる前に水を取り込み、江戸川へ安全に放流することができる。</p> <p>首都圏外郭放水路のメカニズムとして全長約6.3kmで地下約50mに建設されている。</p>  <p>5つの巨大立杭+調圧水槽+排水ポンプ設備で構成されている。</p> <p>中でも有名なのが「調圧水槽」=地下神殿である。</p> <p>早速、調圧水槽という防災地下神殿に入ってみた。</p> <p>高さ約18m、直径約2mの巨大なコンクリート柱が59本規則正しく並び、神殿のような荘厳な空「地下神殿」と呼ばれる所以がした。地下神殿内の当日の気温が9℃であり寒かった。</p> <p>特に近年増加する短時間・ゲリラ豪雨への対応力が高く、首都圏全体のリスク管理施設となっている。四日市市も AI カメラ・浸水センサーの設置にとどまらず、河川改修や市民に理解しやすい可視化が必要と感じた。</p> 

視察研修報告書(2)

令和8年1月13日

視察日時	令和8年1月13日(火) 10:00~12:00
視察者氏名	政友クラブ 笹井絹予
視 察 先	東京臨海広域防災公園・
説 明 者	防東京臨海広域防災公園管理センター長 長谷部 隆介 氏 衛省大臣官房広報課 江藤氏
目的	1・東京臨海広域防災公園は首都圏における大地震等の発災時における緊急対策本部が設置されており、緊急時と平時における防災施策を学ぶ。 2・戦後80年を迎え平和の尊さを心に刻み防衛省市ヶ谷記念館を訪れ、慰霊と鎮魂を込め大本営地下壕跡を視察、我が国の戦争の悲惨さを再確認し平和の大切さを市政に活かすこと。
内容	<u>東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」</u> においては防災体験を通し防災対策について学と共に大地震等の発災時における緊急対策本部の活用手法ならびに公園内の施設を視察した。 <u>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」</u> について 戦後に開催された極東軍事裁判の法廷として使用された大講堂は記念館として公開されており展示物や当時の資料を視察し、地下壕跡を訪れ改めて平和の尊さを実感する。
所感・感想	<p>「東京臨海広域防災公園」について</p> <p>東京臨海広域防災公園は、東京都江東区有明に位置する、首都直下地震などの大規模災害に対応するための国営防災拠点です。平常時は都民に開かれた公園として利用され、災害時には国・東京都の災害対策本部機能を担う中枢施設として機能。有明テニスの森公園・臨海副都心と隣接し、首都高速・幹線道路に近く、広域輸送に適した立地である。</p> <p>まず、施設内に入りタブレットを手渡され、防災体験学習施設「そなエリア東京」地震発生後72時間の行動を体験的に学べる一貫として、エレベーター内での地震体験を行った。</p> <p>その後は管内でタブレットに記載されたクイズを解きながら、それぞれの場所へ移動。</p> <p>防災学習ゾーンでは、きほんのそなえとして、みんなに覚えてもらいたいそなえのエリアがあり、災害時の状況やタイミングに合わせたそなえとなっている。また、一人ひとりのそなえとして、その人だからこそそなえてもらいたいそなえのエリアもあった。</p> <p>緊急災害現地対策本部が設置されるオペレーションルームも2階の見学窓から拝見した。災害時に多数の机・端末を一斉稼働できる体制で国・都・区市町村・関係機関が同一空間で意思決定がなされるとのこと。</p> <p>防災教育において、ファミリー層や子ども向けなど、タブレット操作で体験導線や直感的に理解できるような仕組みを本市も活用できるのではないかと感じた。</p>



「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」について
防衛省市ヶ谷台は、現在の防衛省本省が置かれている場所であり、戦前・戦中は陸軍省・参謀本部が所在した、日本の軍事・政治の中枢と言われている。
戦後は自衛隊の発足とともに防衛庁の拠点となり、現在も日本の安全保障政策の中心的役割を担っている。
市ヶ谷記念館(旧陸軍士官学校講堂)は1937年(昭和12年)建設された。



当日、物凄い強風に見舞われ、足元や身体ごと飛んで行きそうで、やっとの思いで記念館の中に入ることができた。市ヶ谷記念館は戦前、陸軍士官学校の講堂として使用。戦後も保存され、現在は「市ヶ谷記念館」として一般公開されている。

講堂内は重厚な木造・タイル装飾となっており、格式ある壇上・玉座跡である。この講堂では、1945年8月15日の玉音放送直前に関係者が集まった場所としても知られている。



市ヶ谷台の地下には、戦時中に掘削された大規模な地下壕が存在し、その地下壕に入ってみた。


当時は空襲からの避難や陸軍幹部の作戦会議などが行われていた。

また、終戦間際は陸軍省幹部がこの地下壕に集結し、ポツダム宣言受諾について協議が行われていたという。
今ある平和は戦後、逆境から立ち上がった人々が日本を作り上げた不屈の精神であり、それに敬意を表し、私たちは守る義務があると感じた。




視察研修報告書(1)

令和8年1月14日

視察日時	令和8年1月12日(月) 10:00~17:00
視察者氏名	政友クラブ 
視察先	埼玉県春日部市 国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所
説明者	国交省江戸川河川事務所首都圏外郭放水路管理支所龍Q館 施設広報係
目的	首都圏外郭放水路においては地底50mを流れる世界最大級の地下放水路であり、中川・綾瀬川流域の浸水被害を大幅に軽減された施策を学ぶ事とした。
内容	<u>首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u> では首都圏における浸水被害対策として幾つかの河川から地下に取り込む「立杭」と水を送り込む「調圧水槽」、集めた水を江戸川に送り込む「ポンプ施設」からなる浸水被害対策を視察した。
所感・感想	<u>「首都圏外郭放水路管理支所「龍Q館」</u> 平野の多い関東の雨水対策は大きな課題という中で こちらの施設の建設と意味というのは大きかったと感じる設備と 内容であった さほど、活用されていないのではないかと そんなに大雨があったか?などの疑問をもって見学したが 毎年何度か使用されているという事で、昨今の雨の降り方や 気象状況においては防災意識の過剰はないのだと感じさせられました 特に四日市の9月14日の豪雨災害での地下駐車場の浸水と 重ねあわせてみても 現在市の行っている雨水対策や今後の施策において 過剰でもよいくらいで対策していかなければならないと改めて感じるどころでした

視察研修報告書(2)

令和8年1月14日

視察日時	令和8年10月13日(火) 10:00~12:00
視察者氏名	政友クラブ 
視察先	東京臨海広域防災公園・
説明者	防東京臨海広域防災公園管理センター長 長谷部 隆介 氏 衛省大臣官房広報課 江藤氏
目的	1・東京臨海広域防災公園は首都圏における大地震等の発災時における緊急対策本部が設置されており、緊急時と平時における防災施策を学ぶ。 2・戦後80年を迎え平和の尊さを心に刻み防衛省市ヶ谷記念館を訪れ、慰霊と鎮魂を込め大本営地下壕跡を視察、我が国の戦争の悲しさ再確認し平和の大切さを市政に活かすこと。
内容	<u>東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」</u> においては防災体験を通し防災対策について学と共に大地震等の発災時における緊急対策本部の活用手法ならびに公園内の施設を視察した。 <u>「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」</u> について 戦後に開催された極東軍事裁判の法廷として使用された大講堂は記念館として公開されており展示物や当時の資料を視察し、地下壕跡を訪れ改めて平和の尊さを実感する。
所感・感想	<u>「東京臨海広域防災公園」</u> について まずは、とっても楽しいそして多くの世代の方にわかりやすい施設である 防災が難しい、また実感できないという方にも理解できるような施設であった 四日市でいうとクリーンセンターの見学コースのような体験型の施設となっており 実際の災害時を想定したゾーンでは町の一部を再現しクイズ形式で、その場面に出くわしたら どういった対応をすべきかなどを解いていく手法となっており 災害現場を目のまえにすることによって、平時とは異なった対応を求められることについても 理解しやく、また印象に残ると感じました 万が一の発災に関しては、どうしてもイメージがわからないものであるが このように体験することによって防災意識がたかまるのであれば、学びの施設となるのであれば 大きな役割を果たしているだろうと考えます しかしながら、施設の維持、来館者が使用するタブレットや様々な機器が どれくらいのコストが掛かっており費用対効果をしっかりと吟味せねばならないのも事実で 現在四日市にある防災センターと照らし合わせて 防災センターでも取り入れるべきアトラクション(体験)などは積極的に 活用すべきと感じました 一人でも多くの方に防災に興味を持っていただけるような四日市であってほしいと願います

「防衛省・自衛隊 市ヶ谷記念館・大本営地下壕跡」について

防衛庁について

最近の世界情勢の情勢を照らし合わせても平和という部分に多くの不安を感じることはぬぐえない状況である

様々な意見がある中で防衛費の増大に関しては致し方ない

前回の沖縄視察にも感じた、戦争ではなく日本を守るという意味での防衛はさらに必要な状況であることは必須だと感じます

平和を願うなかで、やはり

過去の反省、歴史を確認することは大切であり、今回

防衛庁に残された歴史的な資料を含め見学説明を受けたことは


今後の平和への取り組みをするうえで大きな学びとなった



政務活動費交付請求書

令和7年12月17日

四日市市長

会派名 政友クラブ
 代表者氏名 川村 幸康 

四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、
 令和 8 年 1 月分 (概算払) 政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請求額 386,240 円

2 政務活動費の対象となる経費

区分	金額	備考
調査研究費	386,240	
研修費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
広報費	0	
広聴費	0	
人件費	0	
事務費	0	
合計	386,240	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。



内 訳 明 細

令和8年 1月分 No.10
(概算) 会派

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	386,240	視察旅費(埼玉県、東京都)
研 修 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
人 件 費	0	
事 務 費	0	
合 計	386,240	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

視察旅費	川村	¥47,280	
	笹岡	¥47,280	
	伊藤		不参加
	荻須	¥47,280	
	笹井	¥47,280	
	日置	¥47,280	
	森	¥47,280	
	森川	¥47,280	
	上	¥47,280	
地下神殿コース		¥8,000	
		<hr/>	
		¥386,240	

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名		政友クラブ						
参加者氏名		川村 幸康						
用務先		東京都・春日部市						
実施日		令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)						
目 的		視察						
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	品川 ~ 大崎	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大崎 ~ 国際 展示場	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	国際 展示場 ~ 大崎	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	大崎 ~ 大宮	36.0 KM	JR	660 円	円	円		
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	大宮 ~ 東京	30.3 KM	JR	6,600 円	円	円		
1/13	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円		
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,600 円	10,880 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,280				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	笹岡 秀太郎							
用務先	東京都・春日部市							
実施日	令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	品川 ~ 大崎	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大崎 ~ 国際 展示場	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	国際 展示場 ~ 大崎	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	大崎 ~ 大宮	36.0 KM	JR	660 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】
	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
	大宮 ~ 東京	30.3 KM	JR	6,600 円	円	円		
1/13	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円		(0 円)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,600 円	10,880 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,280				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	荻須 智之							
用務先	東京都・春日部市							
実施日	令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,920 円	円	朝食付	東京都
	品川 ~ 大崎	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円	1,600 円	18,200 円
	大崎 ~ 国際 展示場	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		【上限額】
	国際 展示場 ~ 大崎	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		(27,000 円)
	大崎 ~ 大宮	36.0 KM	JR	660 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	0 円	円
	大宮 ~ 東京	30.3 KM	JR	6,600 円	円	円		【上限額】
1/13	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円		(0 円)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				16,600 円	10,880 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,280				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名		政友クラブ						
参加者氏名		上 麻理						
用務先		東京都・春日部市						
実施日		令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)						
目 的		視察						
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	品川 ~ 大崎	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大崎 ~ 国際 展示場	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	国際 展示場 ~ 大崎	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
1/13	大崎 ~ 大宮	36.0 KM	JR	660 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
	大宮 ~ 東京	30.3 KM	JR	6,600 円	円	円		
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円		
1/13	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,600 円	10,880 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,280				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	笹井 絹予							
用務先	東京都・春日部市							
実施日	令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	品川 ~ 大崎	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大崎 ~ 国際 展示場	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	国際 展示場 ~ 大崎	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	大崎 ~ 大宮	36.0 KM	JR	660 円	円	円		
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	大宮 ~ 東京	30.3 KM	JR	6,600 円	円	円		
1/13	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円		
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,600 円	10,880 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,280				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	日置 記平							
用務先	東京都・春日部市							
実施日	令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円
	品川 ~ 大崎	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		【上限額】
	大崎 ~ 国際 展示場	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		(27,000 円)
	国際 展示場 ~ 大崎	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	大崎 ~ 大宮	36.0 KM	JR	660 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	0 円	円
	大宮 ~ 東京	30.3 KM	JR	6,600 円	円	円		【上限額】
1/13	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円		(0 円)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				16,600 円	10,880 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,280				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	森 康 哲							
用務先	東京都・春日部市							
実施日	令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	品川 ~ 大崎	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大崎 ~ 国際 展示場	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	国際 展示場 ~ 大崎	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	大崎 ~ 大宮	36.0 KM	JR	660 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
	大宮 ~ 東京	30.3 KM	JR	6,600 円	円	円		
1/13	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	小 計			16,600 円	10,880 円	0 円	1,600 円	18,200 円
	合 計			47,280				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名		政友クラブ						
参加者氏名		森川 慎						
用務先		東京都・春日部市						
実施日		令和8年1月12日 (月) ~ 令和8年1月13日 (火)						
目 的		視察						
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/12	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,920 円	円	朝食付 1,600 円	東京都 18,200 円 【上限額】 (27,000 円)
	品川 ~ 大崎	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大崎 ~ 国際 展示場	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	国際 展示場 ~ 大崎	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		
	大崎 ~ 大宮	36.0 KM	JR	660 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	大宮 ~ 南桜井	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】
	南桜井 ~ 大宮	20.6 KM	私鉄	380 円	円	円		
	大宮 ~ 東京	30.3 KM	JR	6,600 円	円	円		
1/13	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	4,920 円	円		(0 円)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				16,600 円	10,880 円	0 円	1,600 円	18,200 円
合 計				47,280				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

予約履歴

日本語

予約番号: qTaxQSkLA

首都圏外郭放水路見学会予約サイト(reservation site)

地下神殿コース

2026年1月12日(月) 14:00~14:55

キャンセル

予約人数

8名

所在地

首都圏外郭放水路

埼玉県 春日部市 上金崎720

MAP

ACCESS

オプション

もっとみる

支払方法

現地決済

料金

地下神殿コース	¥1,000 ×8名	¥8,000
	小計 (税込)	¥8,000
	合計 (税込)	¥8,000

閉じる